

地域説明会報告

- (1) 日 時 令和5年7月15日(土) 13:30~15:30 江津市総合市民センター
(2) 参加者 約47名参加(アンケート回収40枚 両校関係者31名
江津市内小中学校関係者5名 その他・不明11名)

(3) おもな意見

- ・ 江津工業を名実ともに残して欲しい。
- ・ 普通科と専門科の統合は、教育内容が違いすぎて難しいと考える。
- ・ 江津高校の定員充足状況を考えると統合は疑問。普通科系1学級減はさらに疑問。
- ・ ポリテクカレッジとの連携を深めて魅力的な工業教育を実現してほしい。
- ・ 江津高校の魅力化の成果が出始めている。その成果を見極めてほしい。
- ・ 江津地域に普通科を残してほしい。英語教育に力を入れ、海外留学なども実現してほしい。

(4) おもな質問と対応

- ・ 両校関係者説明会と今回の説明会で合計3回の説明会を実施しているが、この後、地元の意見を取り上げてもらえる機会はあるか。
→ 今後開催する総合教育審議会において地域の意見を聴く機会をもつことや、パブリックコメントの実施を検討する。
- ・ これから高校へ進学する小中学生の保護者世代の意見が大事である。この世代の意見は聞かないのか。
→ 10月から11月を目途にパブリックコメントも検討している。その意見も大事にしたい。
- ・ 高校の統廃合は地域振興や街づくりにも影響する。その視点での議論も必要ではないか。
→ 今後、江津市の意見も聞きながら検討していく。
- ・ 江津では県外生募集がうまくいっていないが、それは寮が整備されていないためだと考えられる。県外生募集をどのように考えているのか。
→ 県立高校の寮については通学困難者のためのもの。すべての高校に寮が整備されているわけではない。県外生は入学定員と寮の定員の空きの範囲内で取り組んでいる。他の市町では市町が交流施設等を整備して受け入れている。
- ・ 江津工業には女子トイレや女子の更衣室がない。これでは女子が安心して学ぶことができないのでは。
→ 安心・安全な学びに必要な環境整備は責任を持って行う。

地域説明会 アンケートの主な意見

●議論の進め方に関すること

- ・当事者である在校生に問題提起して議論を進めてほしい
- ・在校生に対してアンケートを取るべき
- ・審議会は石見部の委員中心にやるべき
- ・県教委は江津市と話をするのか？
- ・「学び」の視点ばかり議論されているが、学校施設の維持や行政コスト面での検討も入っているか？
- ・児童生徒がどのような学習環境を求めているかもっと話を聞いていただきたい
- ・まちづくりの視点から議論できる場を設けてほしい
- ・年度内の方針決定するのは早すぎると思う
- ・検討開始の時期が遅い
- ・今までに島根県になかった新しい学校と言われてもなかなかイメージできないので、もう少しじっくり時間をかけて検討してほしい
- ・子育て世代の住民の意見を聞いてほしい
- ・小中学校 いはもっと小さい学校もあるので、高校も小規模な学校があっても良いのでは？
- ・当事者の思いを聞いているか？
- ・総合教育審議会のメンバー表を早急に公表してほしい

●統合そのものに関すること

- ・結果が出始めている現在において定員を決めるのは、増えつつある普通科の未来を閉ざし、江津の町づくりの未来も閉ざしてしまうことになる
- ・県全体の統廃合ルールづくりからやるべき
- ・なぜ統合か分からない
- ・県西部エリアとして統合を考えるべき
- ・統合の目的を明確にすれば良いと思う
- ・普通科系と工業科系の高校の統合は学校全体の方向性として望ましくないと思うので統合には反対
- ・江津市内に通える高校があるということは大事なこと
- ・商業と工業、工業と農業の統合は成功しているが、例えば山口県的美祿青陵高校の普通科・工業科の統合は成功事例とは言えない
- ・西部小学校統合の時期と重なり、子育て世代には不安要素しかない
- ・ルールもないのに誰が統合の話を出したのか？
- ・市内の子供の数で統合を議論するなら、他の学校の方が先では？
- ・統合すると両校の良いところを継続するのは難しいと思う
- ・人口減少対策に取り組む市にとってはマイナス
- ・実質的に工業の救済と思われる
- ・工業高校と普通高校の統合例を教えてほしい

●説明会（資料含む）に関すること

- ・大変良い時間を作っていただきありがとうございました
- ・資料中のR 8 江津工業の市外33名は多いと感じるが、根拠は？
- ・説明会に市役所関係者がいないことは大変違和感があった
- ・今日の話聞く限りでは江津高校が江津工業高校に吸収されるような言い方であると感じた
- ・最後まで2校統合するメリットが分からなかった
- ・今日の説明であれば工業単独で考える話だと思う
- ・江津工業高校の学区として大田市・邑智郡も入っているはずだが、入学者数等に記載されていないのは「ゼロ」だからか？

●地域に関すること

- ・都野津地区の将来が気になる
- ・若い女性が減少すると人口増加が望めないが、普通科が減少すると若い女性が流出しないか心配

●新設校に関すること

- ・1学級定員の最大は40人か？
- ・新設校イメージは白紙に戻すべきでは？
- ・地場の工業を確保・推進するために、江津工業を名実共に残してほしい
- ・1学級定員を少なくしてでも普通科2クラス、工業系2クラスでスタートするべき
- ・普通科を文系としているのは不自然
- ・理系大学を目指せるように考えるべき
- ・目指す方向は本人が決めるべきなので、看護系を示す必要はない
- ・選択肢がたくさんある学校をつくってほしい
- ・女子トイレ、音楽室、バリアフリー、更衣室、女生徒対策など今以上の教育環境が必要
- ・普通科希望の生徒にとって工業科の生徒と共に学ぶメリットがない
- ・江津高校の敷地に工業高校を移転する方がポリテクカレッジとの協働学習が進めやすいのでは？
- ・江津に住む子供たちが行きたくなる学校にしていきたい
- ・市外・県外の生徒を受け入れるために寮の設置を検討していただきたい
- ・普通科高校卒業生として、普通科と工業科の共存は難しいと思う
- ・新たな時代に来るべき人材を育てるためのカリキュラムに改めるチャンスだと思う
- ・理系進学が途が少なくなる
- ・IB認定を目指してほしい

●その他

- ・統合後の魅力を早期に発信しないと誰も選択しない高校になる可能性大
- ・跡地利用もしっかり検討してほしい
- ・教育委員会のホームページの記載を早めにもお願いしたい
- ・浜田高校に流れる生徒が増えているが、中学校の進路指導はどのようにしているか？
- ・小中高連携の進路指導をする必要があるのでは？